

～ 新しい年、新しい出会い探そう ～

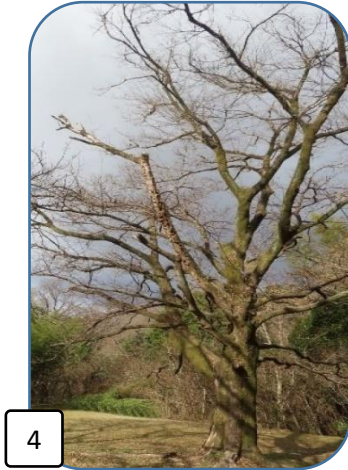
相生山の四季を歩く会 #196



2026.1.11

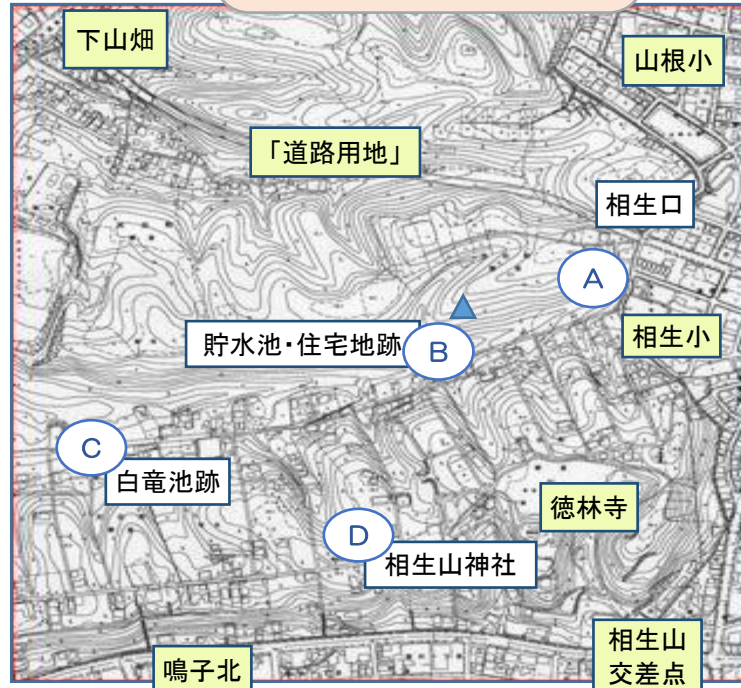
生態系のカギ＝水を探して

今日のゴールは相生山神社



4

落ち葉の下
土はあるか
湿り気はあるか
分解者はいるか？



8



5 葉の比較



順路	区分	標準和名	漢字表記	科名	メ モ
A	湧水				調査中 ▲ 名古屋市緑地ビジョン
1	一休庵跡	サザンカ	山茶花	ツバキ	植栽木 他にカエデ、キチジョウソウ
2	貯水池跡	フユノハナワラビ	冬の花蕨	ハナヤスリ	胞子葉&栄養葉
3		ベニシダ sp.	紅羊歯	オンダ	2⇄3 根の形状比較
4	(住宅地跡)	エノキ	榎	アサ	高木 落ち葉
5		テイカカズラ	定家蔓	キョウチクトウ	対生、幼木㊦成木 別名:マサキノカズラ
6	住宅地	リョウブ	令法	リョウブ	冬芽
7		モチノキ	繭の木	モチノキ	果実 ㊦クロガネモチ
8	白竜池跡	センリョウ	千両	センリョウ	対生、㊦マンリョウ=サクラソウ科
9		クロミノニシゴリ	黒実錦織	ハイノキ	東海丘陵要素植物 ㊦サワフタギ
10	春の七草	ナズナ	薺	アブラナ	別称:ぺんぺん草
11		コハコベ	小繁縷	ナデシコ	㊦ウシハコベ
12		セイタカハハコグサ	背高母子草	キク	外来種//花色:帯黄褐色～帯褐紫
D	相生山観音				旧街道沿い(現東海通り)弘法清水、石仏
	相生山神社				徳林寺開祖=高岡氏による



10



11



2



2 根の比較 3

2月 第2日曜は 8日

早や立春5日過ぎ

～ 春実感！恒例冬芽大巡回 ～

コナラ・ウスノキ・タカノツメ・ヌルデ
・アカメガシワ・ヤマコウバシ
・コバノガマズミ・ハリエンジュ

署名集約 第2回目

名古屋市議会の日程は
2/18～3/23
主な議事は来年度予算

連絡先 (古川)

tell/fax : 052-821-6463

ケイタイ : 080-5124-6463

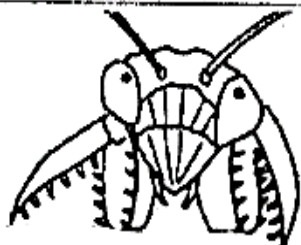
e-mail : viva_forest@yahoo.co.jp

https://lovelyearth.info/

検索 : 相生山の四季を歩く会

ブログ : 相生山からのメッセージ

「ホテルに配慮した道路」なんて ありません。～弥富相生山道路の建設再開の発表をうけて



大変だ！自然環境を守るため、河村前市長が中止にした相生山の森の真ん中をつらぬく道路の建設を再開するって広沢市長が言ったよ！

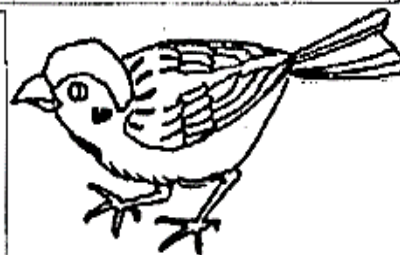
そんなことをしてはだめだよ！相生山の森は、名古屋に残された、貴重な「まとまった森」なんだ。アマゾンが「地球の肺」と言われるように、相生山の森は「名古屋の肺」なんだよ。道路で切り刻んで劣化させてはダメだよ。

by yamamori tokage



それにここは、都市に残されたヒメボタルの貴重な生息地だよ。

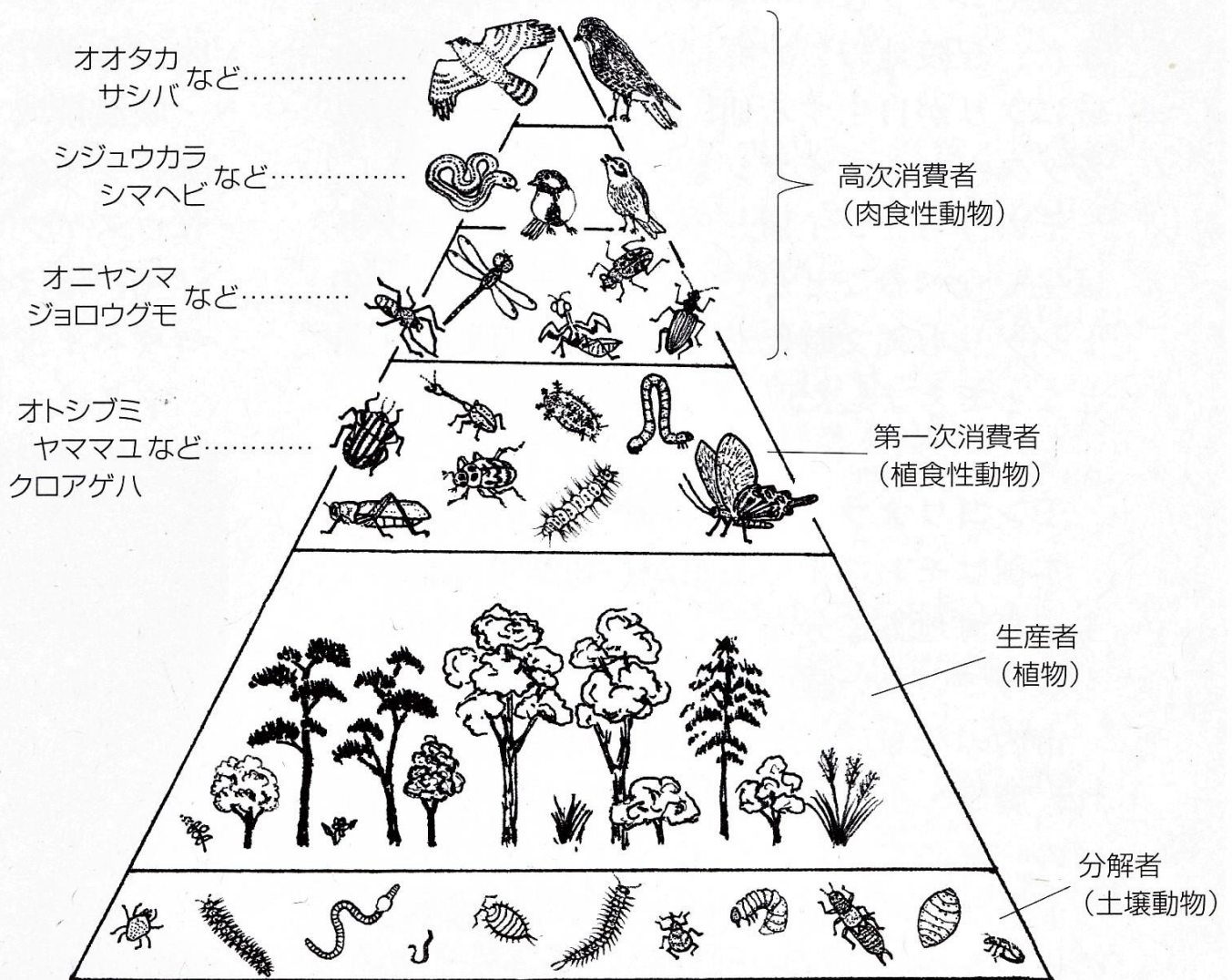
道路を作りたい人たちは「環境やヒメボタルに配慮した道路にするよ。ヒメボタルの繁殖期には、夜は車を止めてあげてもいいよ」って言ってるよ。



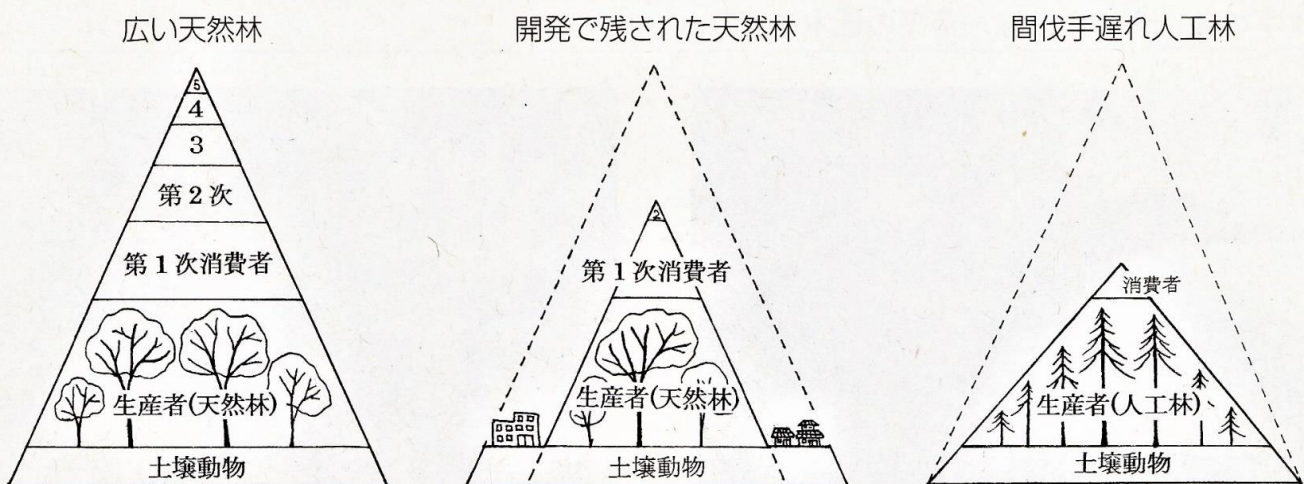
ヒメボタルが出る時期だけ車を止めても意味ないよ。開通すれば一日 7700 台の車がビュンビュン走るんだって。鳥も近寄れなくなるね。森は乾燥化して、ヒメボタルのエサの陸貝もいなくなっちゃうね。切り刻まれた森の生態系は貧しくなっちゃうよ。

おかしいね、日本は「2030 年までに陸と海の 30%を健全な生態系として保全する 30by30 目標」を掲げているのに、わずかに残る森を分断する道路を作るなんて、この目標に逆行してるんじゃないかな？都市に残るわずかな森を壊して道路を作るのって、もう時代遅れだよ。いいかい？森を残すのは人間のためでもあるんだよ。

食物連鎖の模式図=生態系ピラミッド



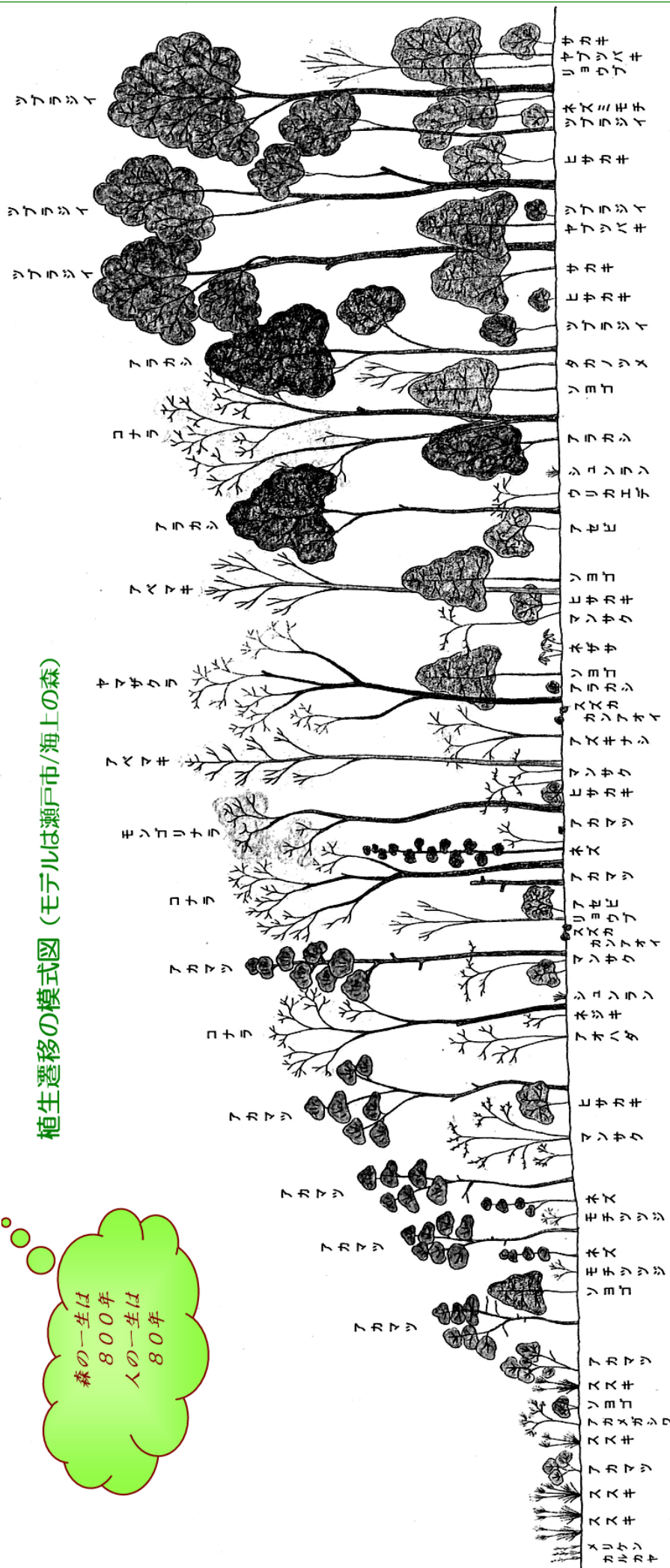
〈豊田市の生態系ピラミッド模式図〉



〈環境変化に伴う生態系ピラミッドの変化〉

植生遷移の模式図 (モデルは瀬戸市/海上の森)

森の一生は
800年
人の一生は
80年

ススキの草原
草本植物

アカマツが侵入
樹木

アカマツの林
針葉樹の陽樹林

落葉広葉樹

マキが混じる

コナラとアベマキの林
落葉広葉樹の二次林

常緑広葉樹
少しずつシヤ

を「見る」

ツブラジイの林
常緑広葉樹の極相林

裸地からアカマツ林まで・・・20～50年くらいかかる

裸地からコナラ・アベマキ林まで・・・80~100年くらいかかる

裸地からシイ林まで・・・200～300年くらいかかる

- ①森林が完全に裸地化されると、まず風散布型種子の草本植物が侵入する。
②その中に、アカマツ・アカメシガシワやモンゴリナナラなどの先駆植物的性格の樹木が侵入し、やがてアカマツ林を形成する。
③アカマツ林となつて土壌が安定すると、コナラ・アベマキやヤマザクラなどの肥料分を好む樹木が侵入し、混交林となる。
④日陰に弱いアカマツは徐々に衰退し、やがて、コナラ・アベマキ林となる。
その頃には、日陰に耐えられるアラカシ・シラカシなどとツブラジイの実生苗が侵入する。
⑤常緑性アナ科樹木と夏緑性アナ科樹木の混交林となり、やがて、より日陰に強い常緑樹林に替わり、極相林に達する。
この地域の極相林では、一般的にツブラジイが森の中心を占め、周辺にカシ類が生育する事例が多く見られる。

とよた 森林学校講座資料、「日本どんぐり大図鑑」(北岡明彦監修)などを参考に作成